



まっすぐ! あなたに。  
まっすぐ! 未来へ。

京都市会議員 西山のぶまさ



# 下京まっすぐジャーナル

Shimogyo Massugu Journal

第5号 2017.June

京都市会議員 西山のぶまさ事務所  
京都市下京区大宮通木津屋橋上る上之町417-1  
ナカシズフラット201号室 TEL:075-746-2725 FAX:075-320-2454  
E-mail: n.n.massugu24@gmail.com

# 西山のぶまさ 2月市会で代表質疑

平成29年度予算案を審議する2月市会。3月1日、西山のぶまさは、公明党京都市会議員団を代表して代表質疑を実施。市からは、すべての質問項目に前向きな答弁を得ることができました。



## ●西山のぶまさの質問要旨

### 1 京都への文化庁移転と文化芸術による地域活性化

公明党京都市会議員団の「京都への文化庁移転と地域活性化に関する提言」(2月24日、門川市長に提出)を踏まえ、文化芸術の力による地域課題の解決や、平成31年に開催されるICOM(国際博物館会議)京都大会の成功に向けて、各種取り組みを推進するよう求めました。

### 2 京都駅西部エリアの活性化を推進

京都鉄道博物館、京都水族館、中央市場、島原など多彩な地域資源が集積する京都駅西部エリア。JR新駅や中央市場に隣接する「賑わいゾーン」の開設を見据え、商店街の空き店舗の活用や地域の特色を融合させた活性化の推進について訴えました。



### 3 子どもの貧困対策の充実

貧困家庭の子どもの居場所として期待される「子ども食堂」などについて、さらなる支援の必要性を強調。また、経済的に苦しい家庭の小中学生に入学準備金として支給される新入学児童生徒学用品費に関して、現在の入学後の支給から入学前の支給になるよう求めました。

### 4 高齢者の生活を地域で支える仕組みづくり

超高齢社会でも安心して暮らせる社会をつくるには、皆で支え合う地域づくりが急務。より多くの市民に「支える側」に回っていただくための取り組みについて訴えました。

### 5 京都市役所における仕事と介護の両立

仕事と介護の両立に向けた対策が急務とされる昨今、京都市役所においても、介護などで時間的制約を受ける職員の増加が予想されます。今後、「働き方改革」を含めた対策を加速するよう求めました。

## ●西山のぶまさの質問が平成29年度予算に反映されました!

### 公園の健康遊具の充実 子どもはぐくみ室の設置

平成27年5月の代表質問で訴えた「公園の健康遊具の充実」。従来は、新設や再整備される公園のみへの設置でしたが、平成29年度から、新規事業「健康長寿のための公園づくり」として、既存の公園にも設置されることが決定しました。



また同時期に質問した「子育て世代を包括的に支援する機能の強化」については、5月8日から、福祉事務所と保健センターに分かれていた各区の子ども窓口が、「子どもはぐくみ室」として一元化。さらに「子どもはぐくみ室」の全職員が、子育てに関する様々な質問や要望にお応えする「子育て支援コンシェルジュ」となり、ワンストップ(その場)で適切なサービスを案内してくれるようになります。

# まっすぐ!▶あなたに。 西山のぶまさの日々の活動から

## ●「教育福祉委員会」へ所属／副委員長を拝命

西山のぶまさは、平成29年度「教育福祉委員会」に所属することとなりました。副委員長も拝命。重責に身の引き締まる思いです。

同委員会は、教育、若者施策、子どもから高齢者までの保健福祉など、市民の皆様の生活に直結する施策を所管します。特に本年度は「子ども若者はぐくみ局」創設という、京都市にとっても節目の年。議員になる前に従事した福祉行政の経験や、この2年間の議員生活で学んだすべてを活かし、しっかり力を尽くしてまいります。



## ●京都への文化庁移転と地域活性化に関する提言



2月24日、公明党京都市会議員団は「京都への文化庁移転と地域活性化に関する提言」を門川大作市長に提出しました。公明党議員団では、昨年度より「文化芸術の力をいかに地方創生に活かすのか」とのテーマのもと、文化行政に関する調査活動と議論を活発に行い、今回の提言に至りました。

提言では、文化芸術と地域経済をつなぐ専門人材「アート・マネージャー」の育成、京都型文化政策の進捗状況を管理するシステムの構築、文化芸術事業への支援を行う独立機関「京都版アーツカウンシル」設置による文化力の底上げ、産・官・学・民・芸連携によるシンクタンク機能の設置など、意欲的な多くの提案をしています。

## ●京都市中央卸売市場第一市場を視察

5月11日、産業交通水道委員会に所属する公明党議員とともに、京都市中央卸売市場第一市場の視察を行いました。

第一市場では、再整備に向けた工事が本格化。特に七条通に面した土地は、JR新駅の集客力を最大限に活かし、商店街などの地域資源との相乗効果を追求。「賑わいゾーン」として、京都駅西部エリアに大きな人の流れを生み出すことが期待されています。現在、活用事業者の公募選定作業が進んでいます。



## まっすぐ!▶未来へ。 西山のぶまさからのメッセージ

京都市会議員としての一歩を踏み出してより2年。この間、多くの方々に支えていただいた感謝を胸に、一日一日、大切に歩んでまいりました。皆様からいただいたご相談やご意見は、350件を超えていました。

内容は市政全般にわたり、国政の範囲に及ぶこともあります。自分が経験したことがない課題に直面すると、どこに相談し、どのように対処すればよいか悩むこともあります。どんな事柄からも逃げず、全身全霊“まっすぐ”正面から取り組んでいます。

ある時は、自治体に勤務した経験から、直接業務を担当した者でないとわからないような課題に気づき、京都市に直接提言した結果、運用が見直されたこともあります。また、今回の紙面でも取り上げましたが、公園の健康遊具の



充実など、市民の皆様から頂戴したご意見をもとに議会で質問し、それが実現に至ったものもあります。

市民の皆様から様々なご相談やご意見を頂戴するたび、実際に多くのことを学ばせていただき、その一つ一つが自分の血肉となっていることを実感します。まさに皆様のお声が私を大きく育ててくださったのだと感謝は尽きません。

いよいよ任期の折り返し地点を過ぎました。これからもますます「お声を頂戴することこそ、我が生命線」との思いを燃やし、頂戴したお声を“まっすぐ”政治に届け、その実現のために頑張ってまいります。皆様、今後とも是非、西山のぶまさに直接お声をお聞かせいただきますよう、お願い申し上げます。

▶西山のぶまさ ホームページ <http://www.nishiyama-massugu.net/>



公明ホールKYOTO  
地域のチカラ